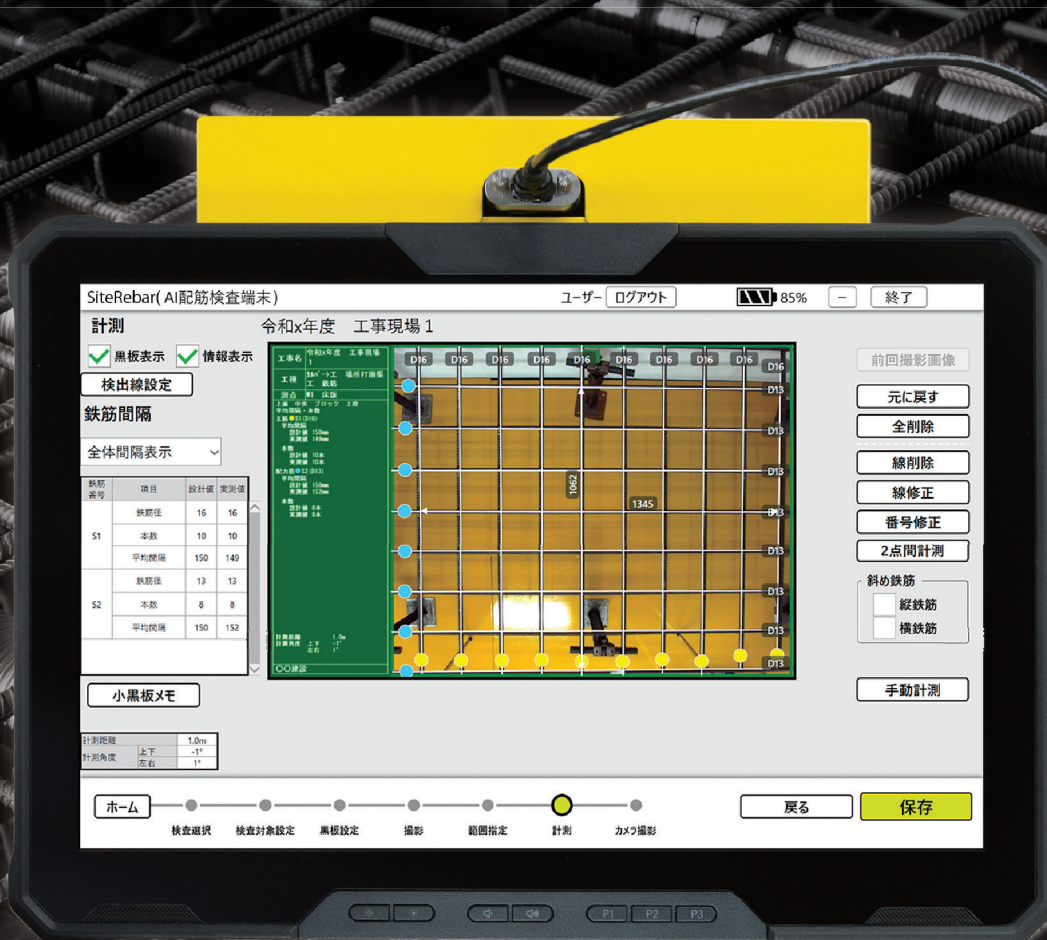


# AI が配筋検査を強力にサポートする



## AI 配筋検査端末 サイトリバー SiteRebar

※1

- ▶ 検査時間を約 60%削減※2
- ▶ 計測用メジャー・マーカ設置が不要
- ▶ 広角レンズによる広範囲計測が可能
- ▶ 湾曲面の配筋検査に対応



NETIS 登録番号: KT-230164-A  
技術名称: AI 配筋検査端末  
事後評価: 事後評価未実施技術  
(2024/2/26 現在)



● 適合証のダウンロードは下記 URL から可能です。  
<https://www.kentem.jp/support/attached-doc/>

国土交通省 デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測の実施要領(案)対応



## デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測の実施要領(案)に対応

デジタルカメラ等で撮影した画像を使って鉄筋出来形計測を実施することにより、準備作業の軽減等が期待されています。

「SiteRebar (AI 配筋検査端末)」は、この要領(案)に対応。受発注者様の作業効率化に貢献します。



正面

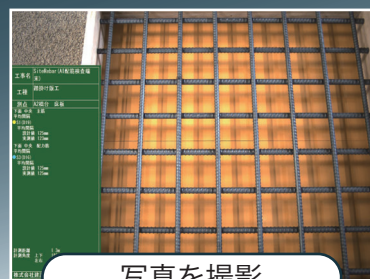


背面

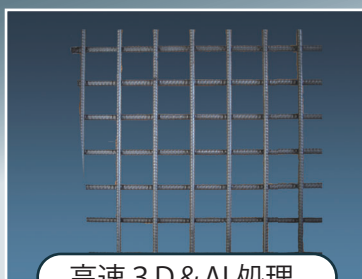
### AI が配筋を認識し、精度の高い配筋検査を実現

鉄筋の検出率 100%※<sup>3</sup>、鉄筋径の判別可能範囲 D10 ~ D51※<sup>4</sup>、鉄筋間隔の計測精度 ±5mm

撮影から計測結果の表示まで  
動画で確認



写真を撮影



高速 3D & AI 処理

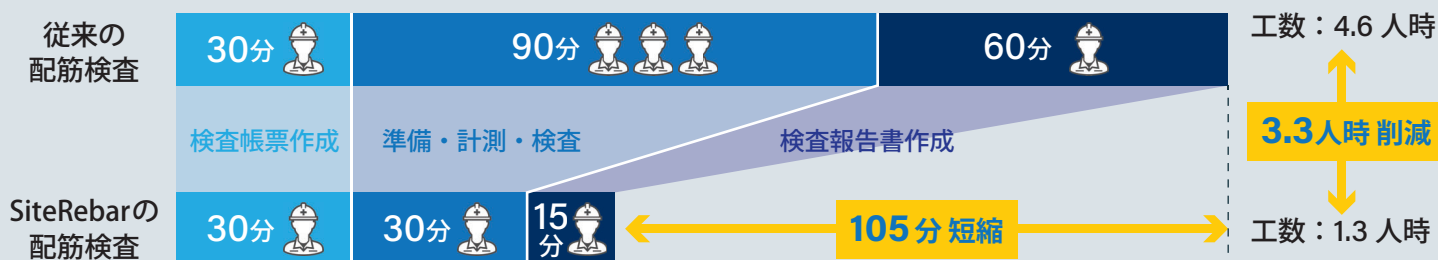


計測結果を電子化

### 検査時間を短縮し、工数も削減

検査帳票作成から報告書作成までの手作業による転記作業を省略。  
従来の配筋検査と比較して、検査時間を約 60%も短縮します。※<sup>2</sup>

配筋検査が省力化できる仕組みを  
動画で確認



### カメラ部を分離して検査可能

高い位置や下段配筋などの計測の際に、タブレット部とカメラ部を分離して検査を可能にし、建設現場の生産性向上に貢献します。



### 屋外環境でも快適に使えるタフな端末

雨天など屋外環境での使用に対応。(防塵防水規格: IP65)  
日差しが強くても見やすいディスプレイを採用しています。

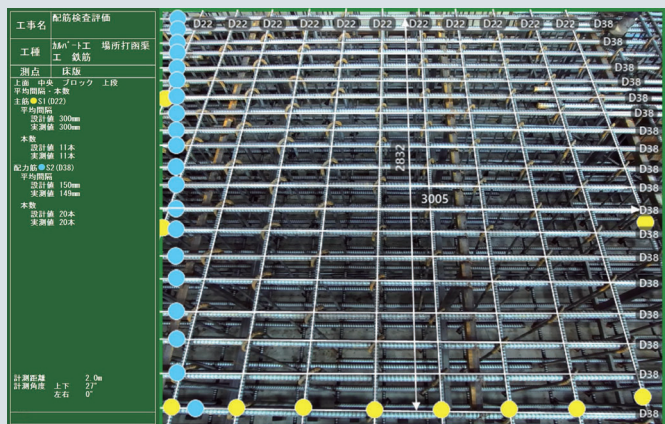




## 作業効率化を支援する便利な機能

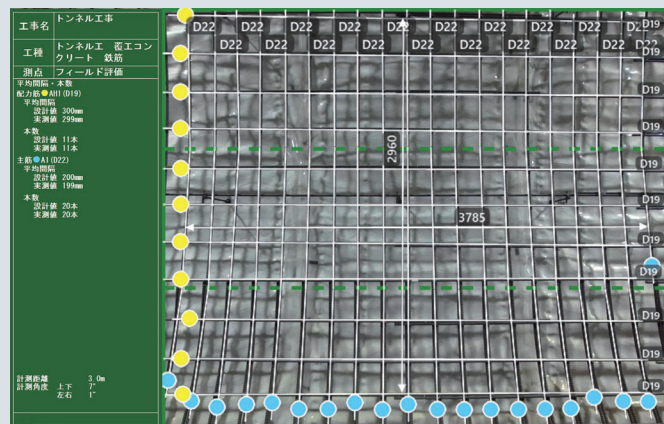
### 現場ニーズの高い広範囲計測を実現

1回の撮影で約300mmごとに組まれた鉄筋10間隔分を撮影でき、広範囲計測で計測作業時間を効率化します。



### 湾曲面の配筋検査に対応

『湾曲計測』機能を搭載し、トンネルの覆工部分やインバート部分にある湾曲した鉄筋も計測できます。



※湾曲の状態や配筋の状況によっては、計測できない場合があります。

### 計測結果を一目で確認

配筋を検出し、配筋径・鉄筋間隔等の計測結果を表示。検出線の調整や鉄筋間隔の表示の切り替え等も可能です。



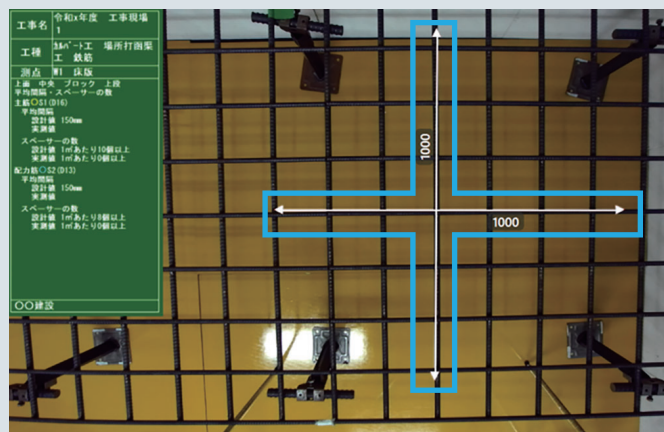
**配筋検出：**検出した鉄筋に対して鉄筋径と検出線を表示。  
検出線の太さや、色の変更もできます。

**配筋径：**連番マーカーのため、計測本数の確認が容易です。

**鉄筋間隔：**『全長表示』と『個別間隔表示』の切り替えが可能です。

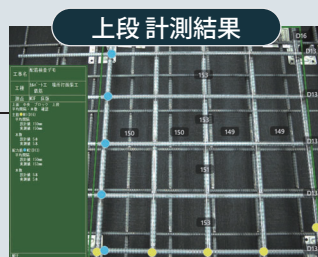
### 電子スケールの位置を任意に調整

スペーサー計測用の電子スケール（1m×1m）を表示し、自由に位置を調整して確認できます。



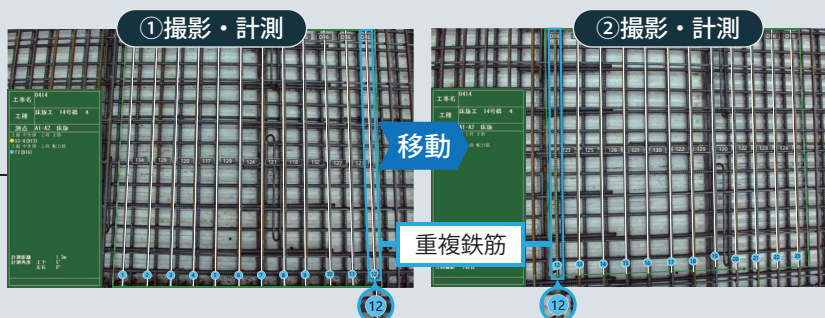
### 上段と下段の同時撮影で検査時間を短縮

1回の撮影で、鉄筋径を判別し、鉄筋間隔や本数を計測。上段だけでなく『簡易下段計測機能』により、下段（裏面）の計測も併せて行うことができます。（ただし下段計測においては撮影条件による）



### 分割撮影で検査をサポート

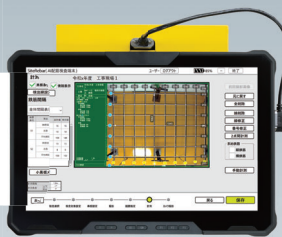
1回の撮影で収まらない範囲は、移動して分割して撮影。鉄筋マーカーに本数が記載されるため、床版配筋などの全間隔計測にも利用可能です。



## 連携ソフトウェア

対象検査データの取り込みやその場での検査帳票の確認が可能に。

AI配筋検査端末 サイトリバー  
**SiteRebar**



遠隔臨場 **SiteLive**



遠隔で  
配筋検査を  
実施

**SiteBox** 配筋検査



「SiteRebar」で  
撮影が困難な  
箇所を補完

API 連携

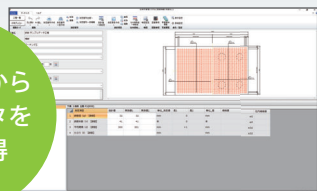
**KS DataBank**  
KS データバンク

写管屋 クラウド



配筋検査写真を  
クラウド上で  
自動整理

デクスパート® 出来形管理システム [配筋検査]



配筋図面から  
設計データを  
自動取得

●「出来形管理システム  
[配筋検査]」は「出来  
形管理システム」のオ  
プションソフトです。

出来形管理 クラウド



クラウド上で  
帳票を確認

デクスパートやクラウド連携により配筋検査業務の DX 化を実現！

## 価格

レンタル料 30日 **200,000** 円(税抜) + 初期設定指導料 **60,000** 円(税抜)  
[1台]

- SiteRebar (AI 配筋検査端末) レンタル料にはクラウドデクスパート連携 API を含みます。
- 初期設定指導料は、初回のみ必須です。(ハード初期設定、キャリブレーション、操作説明)

■「SiteRebar (AI 配筋検査端末)」のご利用には以下のソフトのご導入が必須です。

KSデータバンク

年額 **10,000** 円(税抜)  
[10GB]

出来形管理システム [配筋検査]

**200,000** 円(税抜)

- 「出来形管理システム」のオプションソフトです。

出来形管理クラウド※

年額 **60,000** 円(税抜)  
[5ライセンス]

写管屋クラウド※

年額 **60,000** 円(税抜)  
[5ライセンス]

※ 新規で契約の場合は、別途 初期登録料 30,000 円 (税抜) が必要です。

## 仕様

鉄筋検出	検出率 約 100%※3 (ただし過検出を含む、撮影条件等による)
対象鉄筋	D10~D51※4 (判定率 94%、ただし撮影条件等による)
平均鉄筋間隔	±5mm (100mm 計測時)
外形寸法 / 質量	カメラ部 幅 200mm×奥行 53mm×高さ 35mm 約 0.4kg タブレット部 幅 301mm×奥行 24mm×高さ 203mm 約 1.5kg タブレット取付時 幅 301mm×奥行 67mm×高さ 240mm 約 1.9kg
周囲温度	-10℃～40℃
構造他	JIS C 0920 保護等級 IP65

※1「SiteRebar (AI 配筋検査端末)」は NETIS 登録技術活用製品です。※2 建設構造物の規模等により導入効果は異なります。※3 撮影画像から鉄筋を検出する確率(過検出あり)。また、撮影条件、対象配筋による。※4 撮影画像から鉄筋の太さを判定。D10(蓋長約 10mm)から D51(同 51mm)まで 3mm 単位で設定されている種類を判別可能。※本カタログに記載された価格は、すべて税抜価格です。※本カタログに記載されている社名、および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。※記載された仕様や外観は予告なしに変更する事がありますので、あらかじめご了承ください。

**ITS** Innovative Technology & Services  
アイティエス

問合せ先 株式会社アイティエス 札幌事業所  
〒064-0925  
札幌市中央区南 25 条西 12 丁目 3-23  
TEL : 011-520-6800 FAX : 011-520-6803  
https://its-square.com



ITS\_SQUARE\_SAPPORO



ITS\_SQUARE\_LINE

開発元

**KENTEM**

株式会社建設システム

本社 〒417-0862 静岡県富士市石坂312-1

総合案内窓口

**0570-200-787**

※音声ガイダンスが流れたら、「1」を押してください。

www.kentem.jp

全国 17 拠点から  
万全のサポート!



受付時間

9:00 - 12:00 / 13:00 - 17:00  
月曜日～金曜日(祝日除く)

2025年7月作成 (KS328-10)